

【クラブ活動報告】

創立45周年記念事業

姉妹クラブと共同で防災グッズを寄贈

和歌山北ロータリークラブ
会長 福田 玉緒

能登半島地震で多くの方が命を落とされました。ご冥福をお祈りいたします。

今年度、和歌山北ロータリークラブは創立45周年を迎えます。

周年記念事業として、当クラブの姉妹クラブであります『東済州ロータリークラブ』と共同で和歌山市立伏虎義務教育学校に【防災グッズ】を寄贈致しました。

きっかけは、やはり元旦に起きた「能登半島地震」です。

この地震のニュースは、おそらく多くの国民に衝撃を与えると同時に南海トラフ地震が頭を過ったことと思われます。実際、30年の間に南海トラフ地震が起こる確率80%とまで言われております。

和歌山県は温暖な気候と自然に恵まれています。特に和歌山市は災害の経験も少なく大変住みやすい町です。同じく、済州島も美しい自然とリゾート地として知られ、和歌山市の姉妹都市でもあります。

恵まれた町だけに、防災に関する意識、知識をより一層高めて頂きたい思いと、大人から子供だけでなく、子供から大人にも発信して頂きたい思いを込めて、【防災グッズ】を寄贈いたしました。

